

施設名	大崖砂防堰堤(オオガケサボウエンテイ)								
所在地	長野県 木曾郡南木曾		 <p style="text-align: right;">南木曾町HPより引用</p>						
管理者等	南木曾町								
施設種類・分野	河川	砂防							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>明治13年(1880)には、明治天皇が御巡幸の際に工事現場を視察したことが「信濃御巡幸録」に記されている。その後大崖の崩壊は収まり、安定した山肌へと姿を変えたが、長い年月によって堰堤は土砂で深く埋没してしまい、その所在がわからなくなっていた。</p> <p>昭和57年(1979)、地元大妻籠の藤原長次氏によって発見されたのをきっかけに存在が確認され、南木曾町・建設省により発掘調査が行われて一部が掘り出された。昭和62年(1987)に建設省と南木曾町によって大崖砂防公園として整備され現在一般に公開されている。</p>								
築造時期	明治中期	時期詳細	1880年(明治13)頃						
関連人物	オランダ人ヨハネス・デ・レイケ(1842~1913) 大崖の地を視察した際、その酷い状況に驚いて内務省に砂防工事の必要性と緊急性を強く訴えたという。								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	大崖砂防堰堤は、長野県下で見つかっている中では最も古く、全国的にも最も古い部類に入る石積み堰堤であり、近代化の過程における歴史的意義は大きく、当時の土木技術・砂防工法を知る上でも貴重な遺構である。								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
		その他の指定・認定		町指定文化財					
その他 (関連資料、文献)	—								
管理者等のHP (URL等)	南木曾町 <a href="http://www.town.nagiso.nagano.jp/data/open/cnt/3/9352/1/m56-oogake_entei.pdf">http://www.town.nagiso.nagano.jp/data/open/cnt/3/9352/1/m56-oogake_entei.pdf</a>								